

2018年3月22日

富士ゼロックスの高度な複写技術を駆使し、 『北条氏裁許朱印状』と『豊臣秀吉掟書』を複製、文化伝承に貢献

富士ゼロックス神奈川株式会社から南足柄市に贈呈

富士ゼロックス神奈川株式会社（本社：横浜市 社長：加藤 千晶）は、伝統文化継承に貢献する活動の一環として、南足柄市郷土資料館に展示されている「北条氏裁許朱印状」^{注1}と「豊臣秀吉掟書」^{注2}の複製を製作、4月4日市役所で行われる贈呈式で当社から加藤市長に贈呈いたします。贈呈するレプリカは資料館で常設展示されます。

古文書などの伝統文書の原本は劣化のおそれがあるため展示期間も限られるほか、不特定多数の閲覧者が手で触れることができないことが一般的ですが、複製品であれば、所蔵者は劣化の心配なく展示できます。また、直接手にとり感触も確かめることができるため、文化伝承に貢献できます。

複製品製作にあたっては、富士ゼロックスのカラーマネジメント技術を活用し、電子化した画像情報を和紙に出力して原本の風合いを再現させました。出力においてはグラフィックアーツ市場向け高画質フルカラー複合機を活用し、表面に凹凸がある和紙にトナーを定着させるための特殊な設定を加え、複製品を製作しました。

富士ゼロックスは、社会貢献の一環として伝統文書の複製を通じた文化伝承活動を2008年から実施。現在は研究・開発の主要拠点である富士ゼロックスR&Dスクエア（神奈川県横浜市）および京都を拠点とし、これまで神社仏閣、市町村、大学、企業などに250点以上の複製品を贈呈しています。

富士ゼロックス神奈川は、1981年の創業よりお客様から信頼され、なんでも相談していただける、地元密着の会社として、卓越した価値、よりよい商品やソリューション・サービスを提供し続けております。今後も当社は、富士ゼロックスとの協業のもと、2017年5月に富士ゼロックスが南足柄市と地域の活性化をめざして開校した「南足柄みらい創りカレッジ」を活用し、地域活性化や産業発展、次世代を担う人材育成に繋がる活動に参画するとともに、高度な複写技術を活かした文化の伝承のための社会貢献活動や自社の複合機や保有技術を活用したソリューション・サービスを提供し、神奈川県内の地域社会の発展や活性化に貢献してまいります。

注1：この書に捺されている朱印は、“虎朱印”と呼ばれる北条氏の印鑑で、「禄寿応穩」の文字上に虎の絵が描かれている

注2：天正18年(1590)に豊臣秀吉と後北条氏との間で行われた小田原合戦に際し、征圧した足柄地方の郷や村の人々に対し豊臣軍の行動を規制し、治安維持を保证するため、発給された文書

・Xerox、Xerox ロゴ、および Fuji Xerox ロゴは、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。

